



令和2年2月26日（水）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
保健医療課	感染症対策係	居波 由紀子	内線 2543
			直通 058-272-8270
			FAX 058-278-2624

新型コロナウイルスに関連した患者の県内での発生について

本日（2月26日）19時頃に、岐阜県内の地方衛生研究所より、新型コロナウイルスに関連した感染症の症例の報告がありました。

岐阜県在住の患者の発生は、今回が初めてであり、2月25日にご本人が医療機関を受診され、検査の結果陽性が確認されたものです。

記

概要

○ 患者

- 1 年代：50代
- 2 性別：男性
- 3 居住地：岐阜県
- 4 症状、経過：

2月14日 倦怠感、発熱（37℃台）あり。

2月15日 基礎疾患の治療のため、医療機関Aを受診。

2月19日 歯痛あり、歯科医を受診。鎮痛剤を処方される。

2月20日 頭痛が出現したため、医療機関Aを受診。鎮痛剤を処方される。

2月21日 夜中に激しい頭痛のため、自家用車で医療機関Bを受診。

頭部CT、MRIで異常なし。鎮痛剤を処方される。

2月25日 再度、医療機関Bを受診。発熱（38℃）があり、胸部X線、CTで肺炎像が認められたため、入院。息苦しさが出現。医療機関Bが帰国者・接触者相談センターに相談。

2月26日 検査実施。

5 行動歴：

渡航歴なし。

有症者との明確な接触歴なし。

発症後、2月17日から19日まで出勤。

通勤に公共交通機関を利用。

通勤時と職場ではマスクを着用していた。

○ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とは

<感染の仕方>

風邪やインフルエンザと同様、患者の咳やくしゃみなどの飛沫を吸い込むことによる飛沫感染と、ウイルスが付着した手で口や鼻に触ることによる接触感染によりうつると考えられています。

<感染力>

感染力は事例によって様々です。一部に、特定の方から多くの人に感染したと疑われる事例がある一方で、多くの事例では感染者は周囲の人にほとんど感染させていません。

<一般的な症状と重症化するリスク>

発熱や呼吸器症状が1週間前後つづくことが多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多くなっています。季節性インフルエンザよりも入院期間が長くなる事例が報告されています。

罹患しても軽症であったり、治癒したりする例も多いとされています。一方、重症度は、季節性インフルエンザと比べて高いリスクがあります。特に、高齢者や基礎疾患をお持ちの方では重症化するリスクが高まります。

【保健医療課からお知らせ】

県民の皆さまにおかれましては、咳エチケットや手洗いの徹底などの通常の感染症対策に努めていただきますようお願いいたします。風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、県民の皆さまお一人お一人の予防対策の実施がとても重要です。

<以下のいずれかに該当する方は、最寄りの保健所(帰国者・接触者相談センター)に電話でご相談ください。>

- ・風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方
- ・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方

以下のような方は重症化しやすいため、上記の状況が2日以上続く場合にご相談ください。

- ・高齢者、妊婦
- ・糖尿病、心不全、呼吸器疾患の基礎疾患がある方や透析を受けている方
- ・免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

【国内の新型コロナウイルス感染症患者発生状況(令和2年2月26日12時現在)】

- ・患者147例（国内事例136例、チャーター便帰国者事例11例）
- ・無症状病原体保有者17例（国内事例13例、チャーター便帰国者事例4例）